



予略 今度はほんとい御世治はナリまへ 御礼の言葉も御座
 いません 御座りて本日之の時予定通し 歸及 心配して迎へ
 に来て呈れる旧部下の軍で無事歸宅即ちまへをから 御安心
 下さい。

今度の後仲はついでに合点が行かず何ぞか一人相撲と
 取つて様で釋然と致し せん 然るに懐しい方にも
 御分りて戦時中の御礼と申上げ 悔上がらではありまうか七三
 戦及 住民の方々の冥福と祈り 古戦場と眺めることか未
 来まうて悔は 姦しく 示後志敷 息に對する考へ方の 一つの
 ケドめはなると 存じまう

村の戦史はついでに軍手補陸其他の因縁からあの通りになつた
 と推察致し 出来さるや 觸れ度無かつたのでうかあや様な結
 果となり人さう 歩解の様にとらねること、存じまう 而し
 マココミも一歩不審を抱つてゐる様は 感 じられまうのでは時が
 一にア史と私達の善意が通つて居ること、信じて居りまう

今度日豊外岳早さんには御念ひして戦斗中の御協力の御礼
 も述べ再戦後の苦悶の御心痛と御慰め申すようと思
 思つて居ります。この空境では却つて効りられ今後ともマ
 コミ等のうささい干渉があるがと心苦しい思つて居ります。遠
 く遠くして居りますので御力にもなれませんが出来さるすく
 とはいつて早急と御念ひして居ります。御申越して下
 さう。後陣中も船相と自身の警察の方の三名程做急
 するにまゝるので御急ぎの時は知念さんにも御相注下
 さう。

内地の方も急候も道と境がかなり櫻の候ともなうまうか
 機合の御座ります。蒸騰見物にでも御次第で御おで
 下さう。金もは処に参りましても戦るの居りますので御通知
 被下北は皆歡迎してくれさる存じます。

奥様もほか御看あつた御由戦斗中これから暫くよく雨の
 降る模様には憶ひして居ります。くれぐれも御自愛の

程切に御行り申さす
御信、致しませう
石不教致 御礼為、御報せまじ

四月二日

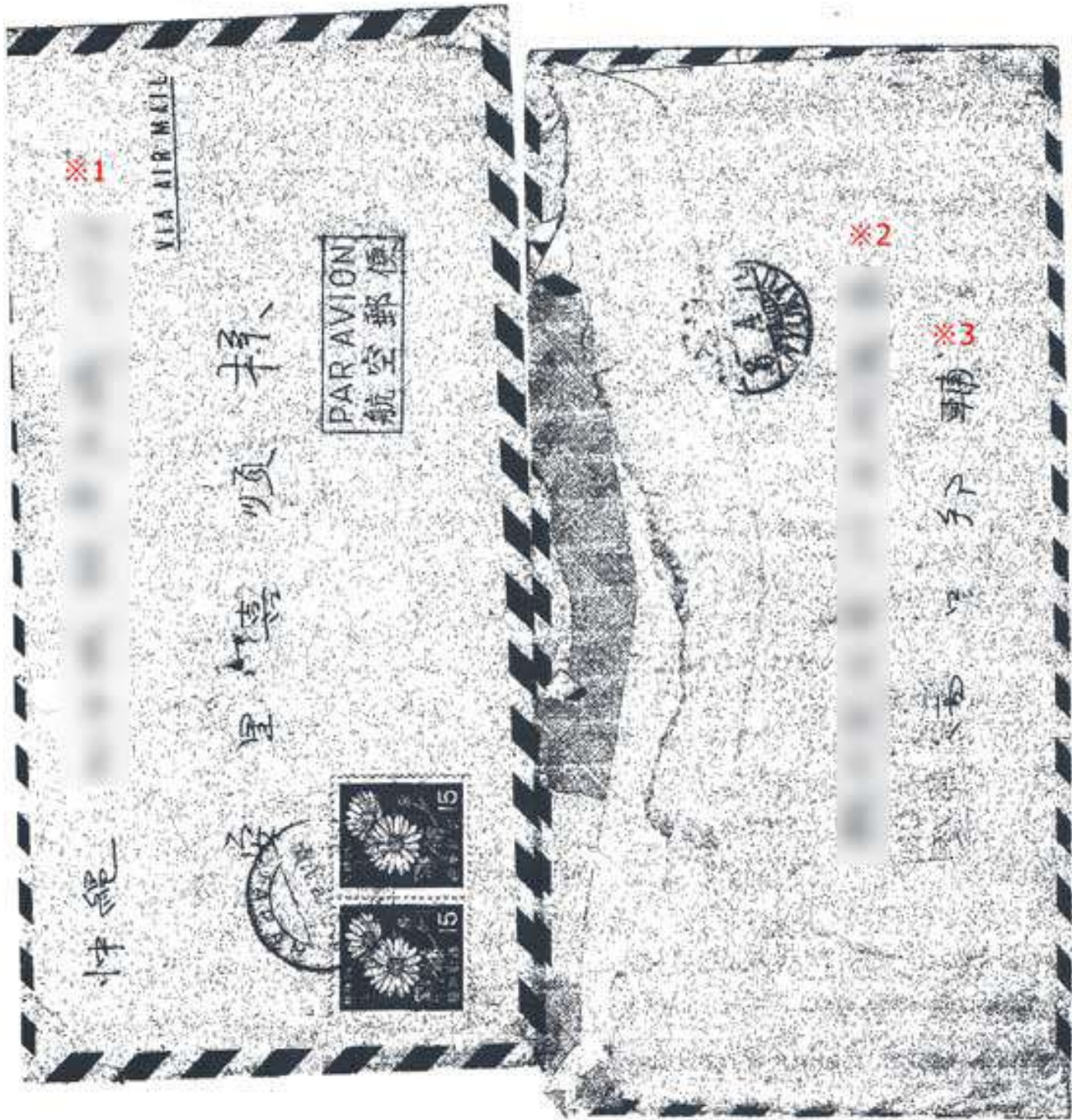
※1

赤 杉 嘉 收

比 志 長 順 様
御一同様

延 伸

御迷惑の掛さるうませんかと封筒の裏書に
念及ありお
りませう



※1、※2：プライバシー保護のため処理しています。

※3：西口邦輔とは赤松嘉次のこと